



祝福された黒杉あさのさんと家族（写真左）、柴田ちよのさんと家族（写真右）

町内で 22 番目と 23 番目の長寿

100 歳おめでとうございます

グループホーム「まごころの家すみよし」に入居している黒杉あさのさんが6月2日に、徳田の柴田ちよのさんが6月10日に共に100歳を迎え、小泉町長が4日（月）に黒杉さんを、10日（日）に柴田さんを訪れ、祝い状や花束を贈り祝福しました。

黒杉さんは、農業や学校給食調理の仕事をしながら二男三女を育て、平成18年に入所するまでは鶴野屋で一人で生活していました。「若い時から大きな病気もなく、栄養バランスを考えた食生活を送ってきたことが長生きの秘訣では」と長男の茂夫さんが話し、あさのさんは「もったいないくらいうれしい」と喜んでいました。

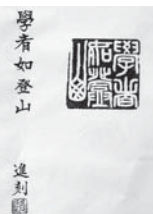
柴田さんは、若い時に眼病を患いながらも、手先が器用で炊事洗濯など家族のために家事を一生懸命にこなしていました。ちよのさんは元気に100歳を迎えられたのは「やさしい家族や、近所の人のおかげです」と感謝し、おいの前畑憲一さんは「みなさんのおかげです」と話しました。

日本篆刻展

南進さんが奨励賞を受賞

南進さん（高浜町）が、日本篆刻展委員の部で奨励賞を受賞し、5月25日（金）に役場を訪れ、受賞を報告しました。

受賞した作品は、「學者如登山」と彫られています。一歩ずつ高い山に登るように学問を追及するという意味で、南さんは「受賞を励みにさらに良い作品を作りたい」と話し、出品した作品の印影
小泉町長は「これからも素晴らしい作品が生まれるよう取り組んで、多くの人に広めてください」と話しました。



奨励賞受賞を報告する南さん（右）



ねんりんピック出場を報告するゲートボール協会の会員

志賀町ゲートボール協会

ねんりんピック出場を町長に報告

5月12日（土）に金沢市で開催された「ゆーりんピック2012」のゲートボール競技の部で3位に入賞し、10月に宮城県で開かれる「ねんりんピック宮城・仙台大会」への出場権を獲得した志賀町ゲートボール協会が、28日（月）に役場を訪れ、小泉町長に報告しました。

監督の大家勇さん（和田）は「練習して腕を一層磨き、県や町の代表として恥ずかしくないプレーをしたい」と話し、小泉町長は「健康を大事にして勝利を目指して頑張ってください」と激励しました。

志賀町出身の洋画家

白尾勇次さんが来庁し町長を訪問

サロン・ブラン美術協会会長で高浜町出身の白尾勇次さんが、故郷の志賀町を訪れ、小泉町長を訪問しました。

白尾さんは、昭和2年に高浜町に生まれ、油彩を南政善、水彩を春日部たすくに学びました。日本国際美術家協会を設立し、創立会員となるなど、フランス・スペインなど海外展にも多数出品しています。役場本庁舎東玄関には、「春夏秋冬」と題した絵画が展示されています。

白尾さんは、志賀町に美術名典や美術年鑑などを寄贈し、寄贈された書籍は図書館内で閲覧できます。



美術名典などの書籍を寄贈した白尾さん(中)



土砂崩れ防止のためシート張り訓練を行う消防団員

土砂災害防災訓練

住民や消防が土砂災害に備える

6月3日(日)に、倉垣で土砂災害防災訓練が実施されました。

想定では、加茂小学校で倉垣区民と小学校生親子による交流行事が行われている最中に、小学校裏手の山から大雨により土砂崩れの危険性をもとに行われました。参加した住民は消防署員や消防団員による誘導でバスに乗り込み、避難先の地域交流センターまでの避難行動を行いました。

志賀地域の8消防団による水防訓練として、土砂崩れ防止のシート張り訓練も行われました。

志賀町老人クラブ連合会

書道や絵画など力作の展示

5月26日(土)から27日(日)に富来活性化センターで、6月2日(土)から3日(日)には文化ホールで、志賀町老人クラブ連合会の第3回「余技展」が開催されました。会場には、書道や絵画、切り絵や手芸品、藍染めなど会員の心のこもった力作約180点が展示されました。

文化ホールの会場では、切り紙の体験コーナーが設けられ、平泉洋子さんと向永いみ子さんが講師となり、参加者の指導をしていました。参加者は折り紙を旬の野菜にかたどりのり付けし、ランチョンマットを制作しました。



切り紙の体験をする参加者



収穫を楽しみに苗を植える園児

富来ロータリクラブ

保育園児がとぎ金時の苗を植える

6月6日(水)に、とぎ、ますほ保育園の両園児約40人が里本江にある富来ロータリクラブの畑で、サツマイモの「とぎ金時」の苗植えを体験しました。

苗は700本用意され、ロータリクラブ会員などとともに植えられ、植えた場所には自分の名前が記入されたプレート差し込み、秋の収穫に備えました。

園児は収穫を楽しみにしており、秋には収穫祭を開催し焼き芋などにして食べる予定です。



左から堀薫さん、小泉町長、浦野恒一さん、室美江子さん、佐野富美子さん



健民運動推進本部長の谷本正憲知事から表彰を受ける浦野会長

日々の健康に努力

富来健康クラブ協議会が石川県健民運動推進本部長表彰を受賞

5月18日(金)に石川県庁で平成24年度石川県健民運動推進本部長表彰式が行われ、地域の運動会や敬老会、西能登やっちゃん祭りや大漁起舟祭などに参加し、活動を行ってきた志賀町富来健康クラブが優秀実践活動表彰を受賞しました。

6月12日(火)に、富来健康クラブの浦野恒一会長をはじめ執行部の会員が、役場を訪れ小泉町長に受賞を報告しました。小泉町長は「まだまだ元気に活動できるようこれからもがんばってください」と祝福しました。

富来健康クラブは石川県内最多の約200人の会員が加入しています。会員は各校下毎に週1回集まり、踊りの練習など活動を行っています。浦野会長は「富来の老人は元気です。これからも日々の健康に努力します」と話しました。

志賀町女性団体協議会

県民体育大会に向けて花を植える

8月11日と12日に志賀町を主会場に開催される第64回石川県民体育大会夏季大会に備えて、会場を飾ろうと志賀町女性団体協議会が、6月3日(日)に花苗をプランターに植えました。

苗植えには協議会の会員約40人が参加し、サルビアやマリーゴールド200鉢を植えました。植えられた花は、大会当日まで水やりなどの世話をし、会場を華やかにするため、町内の各競技会場に飾り、選手や観客を歓迎します。



会場を彩るサルビアやマリーゴールド



美しい音色を奏でる音楽団と聞きいる観客

フローリィ de カンタービレ

福浦漁火オーケストラ復活

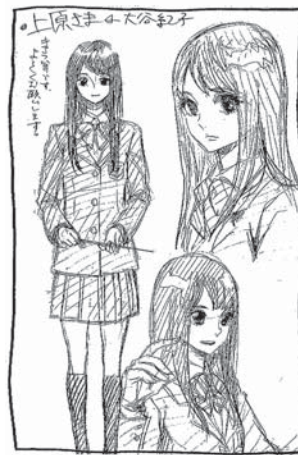
6月17日(日)に花のミュージアムフローリィで市民楽団による音楽祭が開催されました。

オープニングコンサートには、志賀町を主舞台として撮影した映画「リトル・マエストロ」に福浦漁火オーケストラとして出演したオルビスNOTOと七尾吹奏楽団などの約50人が参加し、映画のテーマ曲である「威風堂々」を演奏しました。

1年のうち花が一番きれいに咲き誇る6月のフローリィ館内には、美しい音色が響きわたっていました。



▲フローリィで映画撮影時の様子について施設職員から説明を聞く大谷紀子さん(右)



▲▼大谷紀子さんが下書きした原画 (上) 有村架純さんが演じた吉川美咲 (下) 積由美子さんが演じた三村みどり

集英社の少女漫画「ザ マーガレット」 映画「リトル・マエストラ」が漫画化

今年の1月27日から2月11日の間に志賀町を主舞台として撮影された映画「リトル・マエストラ」が、集英社の少女漫画雑誌「ザ マーガレット」で漫画化されます。

この作品を描く漫画家の大谷紀子さんが5月29日(火)に役場を訪れ、「志賀町の美しい景色や人を忠実に描きたい」と話しました。作品中では、志賀町の名前やフローリィの名前も登場し、映画の物語を基に作られ、少女の気持ちをストレートに表現し、恋愛要素を加えた物語になる予定です。

現在、大谷紀子さんは、作品発行に向けて原稿を執筆中で、「ザ マーガレット10月号」と「ザ マーガレット12月号」の2回に分けて各80ページ掲載され、10月号は8月24日(金)、12月号は10月25日(木)に発売される予定です。



▲避難先のサン・アリーナ(輪島市)

原子力発電所から半径 30km範囲の住民が広域避難 石川県原子力防災訓練を実施

6月9日(土)に、石川県主催の原子力防災訓練が行われました。東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲が30kmに拡大したことを踏まえ、志賀町をはじめ羽咋郡市と周辺の市町や金沢市も参加する広域訓練となりました。また、北陸電力志賀原子力発電所でも訓練が行われました。

今回の訓練では、オフサイトセンターを石川県庁に、避難所を輪島市と金沢市に設置しました。福浦港区の住民は、一時避難所である集会所に集合したあと、避難先である輪島市のサン・アリーナへ向かう避難訓練を行いました。富来漁港から海上保安庁の巡視艇かがゆきに乗船する予定でしたが、輪島沖の波が高いため、船での避難ができずバスでの避難となりましたが、参加した住民は迅速な行動で訓練を行いました。参加した住民は「今回の訓練で満足せず、繰り返し訓練を行うことが必要」と話しました。



(左) 避難先である輪島市のサン・アリーナでスクリーニング検査を受ける住民



(右) 海上保安庁の巡視艇に乗り込む避難住民

☀☀☀ 熱中症に注意しましょう ☀☀☀

夏に向けて、熱中症になる人が増えてきます。熱中症をしっかり予防し、楽しい夏を過ごしましょう。

熱中症とは？

熱中症とは、室温や気温が高い中での作業や運動により、体内の水分や塩分（ナトリウム）などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体がだるい、ひどいときにはケイレンや意識の異常など、様々な症状をおこす病気です。



熱中症予防のポイント

- ☀ 部屋の温度をこまめにチェック！
- ☀ 室温 28℃を超えないように、エアコンや扇風機を上手に使いましょう！
- ☀ のどが渴いたと感じたら必ず水分補給！
- ☀ のどが渴かなくてもこまめに水分補給！
- ☀ 無理をせず、適度に休憩を！
- ☀ 日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりを！



～こんな時はためらわずに救急車を呼びましょう～

- 自分で水が飲めなかったり、脱力感や倦怠感が強く、動けない場合はためらわずに救急車を呼んでください。
- 意識がない、全身のケイレンがあるなどの症状を発見した場合。



左から小堀真幸さん、出村昌寛さん、細川智司さん

志賀消防署富来分署

『ほふく救出』の訓練種目で

初の全国大会出場へ

6月1日に第38回石川県消防救助技術訓練大会で優勝した志賀消防署富来分署の3人が、ほふく救出種目で8月7日に行われる全国大会に初出場します。

富来分署は昭和47年の開設以来、初めての全国大会出場となります。出場するのは消防副士長の出村昌寛さん(章江)と細川智司さん(福野)、消防士の小堀真幸さん(堀松)です。ほふく救出は、救出するまでのタイムと呼吸器やロープなど資器材の装着の安全性や確実性を競います。3人(救助者・補助者・要救助者)



① 装着する資器材
②③ 機敏な動きで行う訓練
④ 長さ8メートルの煙道

1 チームで行い、2人が煙道から10メートル離れた位置よりスタート。救助者が空気呼吸器を装着し誘導ロープを両足首に結んだあと、細い綱を持って8メートルの煙道を通り要救助者を助け出します。

3人は夜勤明けも含め、全国大会に向けて毎日訓練に打ち込んでおり、「みなさんの期待に応えられるよう頑張ります」と話しました。